

## 資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [二宮尊徳外伝](#)

### 労働組合

### 労働者福祉・共済

### 一般教養

#### 社会保障

[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)

### 二宮尊徳外伝

わが国の国定教科書制度が確立したのは明治36年のことでした。

二宮金次郎（尊徳）は、“期待される少年像”として、最初から修身教科書のヒーローとして登場しています。

以来42年間にわたり教科書の中で紹介され続け、戦前の金次郎は一躍ヒーローになりました。

ところがそれらのいずれもが申し合わせたように少年時代だけの話です。

どの年の教科書も「金次郎は20歳の時に自分の家に帰り、せいでして働き、のちに偉い人になりました」で終わっています。

いわば金次郎は、富国強兵を担う意味での“徳の権化”としてのみ利用されてしまったのです。

金次郎がそのことを知ればどんなに悔しがったことでしょう。

村役人の選出にあたってもそれまでの習わしである上意下達を廃して、女性や未成年にまで参政権を与え、農民の全員投票を取り入れたり、農村改革の先駆者として「上を制し、下に厚い」という民主的な農政を敷いたことなどは完全に抹殺されてしまいました。

これほど偉大な人物が、戦後は軍国主義の手先だといわれて迫害されたことは不憫でなりません。

二宮尊徳伝を読んでもらい、一人でも多くの方に真の姿を知ってほしいと願うのは私だけではないはずです。

混迷した現代においても尊徳の残した思想・哲学は十分に通用します。

政治家や官僚たちが分度を守って国家経営にあたっていれば1000兆円の借金などでできなかったはずです。

推譲の考え方が浸透していればこれほどまでに格差が広がらなかったかもしれません。

戦後60年かけて失われてきたものは、これから先60年かけなければ復活できません。

「至誠」とは、真心を尽くすことです。

「勤労」とは、物事をよくよく観察し、認識し、それをもとに知恵を磨きながら働くことです。

「分度」とは、自分の置かれた状況や立場をわきまえ、それにふさわしい生活を送ることです。

「推譲」とは、分度を守り、勤勉に働き、その結果得た余剰を家族や子孫のために蓄えたり、他人や社会のために役立てることです。

「積小為大」とは、小さな努力、小さな蓄積の累積がやがては大きな収穫や発展に結びつくということです。

「一円融合」とは、尊徳の世界観であり、尊徳思想の到達点とも言えるものです。

いわば東洋思想の原点でもある陰陽説とも相通するものです。

これら6つの原理はすべて分かちがたく結びついており、これらを実践することで世の中の幸福が実現することを尊徳は教え残しました。

しかも尊徳の偉大なところは単なる学者でなく実践主義者であり、悪しき官僚主義者たちと闘ってきたことです。

作家室門冬二は、その著書「二宮尊徳の経営学」で官僚主義の悪についてこう書いておられます。

「官僚主義というのは、改革を嫌がり、現状保持にしがみつくと一種の保守主義である。

特に役所にこの性癖が強く、すべて“先例”を重んじ、先例にないことはやらない、などというのが官僚主義の最たるものだ。

また、官僚の給与を出している国民（住民）に対する責務感が薄い。

したがって、国民側から何か要望や要求が出て、それが新しいものであればすぐには応じない。

「検討します」とか「いずれ連絡します」などという対応をする。

あるいは責任逃れから“タライ回し”をする。

これが官僚主義の悪いところだ。

一言でいえば、官僚主義というのは「自分の給与の出し手の立場に立たず、常に自分たちの身分や椅子を保ちたいがための保守主義」をいう」

尊徳の教えとともに、私たち自身への戒めとしても強く受け止めていきたいと思います。

教育カリキュラム

日本国憲法

傾聴

語り部スキル

▶ キーワード検索はこちら

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

▶ サイトマップ ▶ このサイトについて ▶ 個人情報保護の取組みについて

▶ ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.